



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア・イスラエル：中東和平に関するイスラエル首相の発言 (4月2日付サウジ「リヤド」紙)

4月1日、オルマート・イスラエル首相は、エルサレムにてメルケル独首相との会談後の共同記者会見で、次のように発言した(要旨)。

1. サウジアラビアの呼びかけによるイスラエル・アラブ首脳会談に参加し、アラブ和平イニシアティブについて話し合う用意がある。
2. アブドラ・サウジ国王が穏健なアラブ諸国に対して会合を呼びかけ、パレスチナ PA 大統領及び自分に対してもサウジ提案を示すために呼びかける際には、その提案に耳を傾け、喜んで当方の意見を申し述べる所存である。
3. 自分が非常に重要な指導者であると認めているアブドラ国王は勿論のこと、他のアラブ諸国の首脳全てに対し、イスラエルとの協議を行うことを呼びかける。
4. 外交推進のために多大な努力を傾けるための機は熟していると思われる。
5. (このような首脳会合を開催した際に、アブドラ国王に伝えたいことは何かと問われ) 直接会って伝えたいことはあるが、成果を出すためには、適切な過程を経て事が成熟する前に発表することは出来ない。